

Flash Eyes

観戦ガイド1月14日号

天皇杯・皇后杯
2020年
全日本卓球選手権大会
(一般・ジュニアの部)
丸善インテックアリーナ大阪
(大阪市中央体育館)
2020年1月13日(月)
～1月19日(日)



1月14日の予定

- ダブルス 1～2回戦
- 混合ダブルス 3～4回戦
- ジュニア 2～3回戦
- 女子シングルス 1回戦

◆ 試合速報

試合の結果速報は、大会サイトで検索することができます。下記アドレスでご確認ください。さあ、今すぐアクセス！

●全日本選手権特設サイト

<http://www.japantabletennis.com/zennihon2020/>

◆ 入場料

●アリーナ席・SS席・S席・A席が
ございます。

詳細は、下記アドレスでご確認ください。

<http://www.japantabletennis.com/zennihon2020/ticket>

◆ 丸善インテックアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)

大阪市港区田中3-1-40
TEL 06-6576-0800

https://www.yahataya-park.jp/osaka_arena/index.html

●大阪メトロ(地下鉄)「朝潮橋駅」
下車徒歩3分

全日本 令和開幕

天皇杯・皇后杯をかけた2020年全日本卓球選手権大会が、1月13日丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)で開幕した。開会式では、星野一朗大会委員長の開会宣言、国歌演奏、前年度王者による天皇杯・皇后杯の返還の後、藤重貞慶日本卓球協会会長のあいさつ、辻裕大阪卓球協会会長の歓迎の言葉に続き、昨年2年連続の3冠を果たした伊藤美誠選手が力強い選手宣誓を行った。

大会初日の13日は、ジュニア男女と混合ダブルスの1～2回戦が行われた。ジュニア男子にはカデット14歳以下王者の中村煌和が登場し、高校生相手に見事勝利を収めた。ジュニア女子では、ホープス王者の小学5年生・張本美和、同じく5年生で今大会最年少の小塩悠菜らが登場。年上の選手相手に競り勝ち、3回戦へ駒を進めた。

混合ダブルスでは、3連覇を狙う森園政崇・伊藤美誠組が盤石の立ち上がりで好スタート。昨年準優勝でリベンジを誓う張本智和・長崎美柚組も危なくなく勝利した。注目の松島輝空・丸怜央奈組は初戦で姿を消した。

本日14日は、ジュニア男子に谷垣佑真、横谷晟、篠塚大登、曾根翔ら愛工大名電高勢のほか、東アジアホープス優勝の松島輝空、高校総体3位の新名亮太らが登場。女子は、連覇を狙う出澤杏佳、昨年準優勝の大藤沙月、昨年一般シングルス準優勝の木原美悠、中学生ながら世界ジュニア準優勝の小塩遥菜などシード選手が続々登場。

男子ダブルス1回戦には初ペアとなる神巧也・松平健太組が登場。ノーシードから勝ち上がり今大会の台風の目となるか。女子ダブルスでは昨年世界ジュニアに続きグランドファイナルを制して勢いに乗る長崎美柚・木原美悠組が2回戦から登場。世界レベルのダブルスから目が離せない。



森園 政崇 / 伊藤 美誠 組

サーブレシーブの組み立てがうまいペア相手に序盤は苦戦するも、落ち着いて対応し3-0で勝利した森園・伊藤組



張本 智和 / 長崎 美柚 組

全日本は独特な雰囲気があり、お互い緊張していたが、少しずつ緊張が取れてたので良い結果になった、と張本

競技日程

● [第3日] 1月15日(水)

- シングルス 1～3回戦
- ダブルス 3回戦
- 混合ダブルス 準々決勝
- ジュニア 4回戦～5回戦

● [第4日] 1月16日(木)

- シングルス 4回戦
- ダブルス 4回戦
- 混合ダブルス 準決勝～決勝
- ジュニア 準々決勝～決勝

● [第5日] 1月17日(金)

- シングルス 5～6回戦
- ダブルス 5回戦～準々決勝

● [第6日] 1月18日(土)

- シングルス 準々決勝
- ダブルス 準決勝～決勝

● [第7日] 1月19日(日)

- シングルス 準決勝～決勝
- 閉会式

開会式

PHOTO

トピックス



大会会長
日本卓球協会
会長 藤重 貞慶

大会委員長
日本卓球協会
専務理事 星野 一郎

大会副会長
大阪卓球協会
会長 辻 裕



選手宣誓

選手宣誓 伊藤美誠選手

我々選手一同は、歴史と伝統のある天皇杯・皇后杯2020年全日本卓球選手権大会の舞台に立てることを誇りに思い、これまで積み上げてきた努力の成果を発揮するとともに、支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、一球一球心を込めて最後までプレーすることを誓います。

▼1月13日 記者会見ほか▼

伊藤美誠選手

たくさん練習をしてきたので試合をするのがすごく楽しみです。史上初の3年連続3冠に向けて、まずは一戦一戦やり抜くことが大事になるので、ミックスの初戦を勝って女子ダブルスとシングルスにつなげていけたらと思います。今大会は、いつもと変わらず試合を楽しんでいるところと、実力が上がった私を見てほしいです。

水谷隼選手

去年全日本選手権の最多優勝記録10回を達成できて満足しています。後輩たちは張本を中心に強い選手ばかりなので、いい試合をしてくれることを期待しています。五輪は自分の力でシングルスの出場権を勝ち取ることはできなかったのですが、団体とミックスの出場が決まってホッとしています。ただ、やっとスタート地点に立てただけなので満足はしていないし、リオに続いてのメダルも期待されているので精一杯やりたいです。

張本美和選手

初日ですごく緊張して、一試合目は両足が震えていましたが、二試合目は慣れてきたのでよかったです。ジュニアはできればメダルを取って、一般は去年より一回でも多く勝つことを目標にしています。去年より技術も体力もついたので、明日からも最後まであきらめずにプレーしたいです。

